

道央都市圏都市交通調査協議会 第1回協議会・第1回幹事会(合同開催)  
議事概要

日時:令和7年3月26日(水)14時00分～16時00分

場所:アスティ 45 16F 大研修室 1614

≪資料3≫

■ 事務局による説明(資料3)

※配布資料をもとにパーソントリップ調査の実施に向けた事前準備を行う検討会(令和5年10月設置)で議論してきた内容を報告し、内容について委員の理解を得た。そのうえで以下についての議論がなされた。

■ 意見交換(資料3)

- 過去のパーソントリップ調査は将来の伸びる需要にどう対応するかという比較的分かりやすいアウトプットが主であったが、今回調査では人口減少社会の考慮、各自治体が策定する地域公共交通計画との連携、重要性が高まる外国人観光客への対応など、複雑多岐に渡る課題を踏まえる必要がある。国が策定した新たな都市交通調査ガイダンスも参考に、今までと違う視点で調査に臨むことが求められる。
- 他圏域の実績では20～24歳の回収率が低くなっており、若い世代の回収率を上げることを考えたときに住民基本台帳ベースとした調査にこだわらず、学校ベース、職場ベースの追加調査をすることを考えても良い。経済的な側面も含めて何かを改善し活力を上げていこうという中では、若い世代の情報を充実させ、若い方々により満足いく形で働いてもらうことが大事。
- 令和7年度は国勢調査等、大規模な調査が他にも実施されるため、調査間で連携を図り調査対象者へ不安感を与えないような配慮をすべき。

≪調査票≫

■ 事務局による説明(調査票)

※4月協議会での調査票確定に向け、委員間において議論がなされた。

■ 意見交換(調査票)

全般

- 回答していただく方のみならず、問合せに対応する側の効率化も考えるべき。例えばサポートセンターの負担を軽減するため、よくある問合せ事項と回答を順次ホームページに公表していくことなどを検討されたい。

## 個人票

- 外出の定義が人によって様々で、ルーティンワークを外出と捉えない人も居るので明確化した方が良い。あわせて、義務的活動、非義務的活動については、区別が大事な内容になるため、分析を見据えた検討・議論をすると良い。人の移動によって経済活動の活発化や、交流が促進されるという側面があるので、家から出なくても済んでしまうことが多くある現代において、いかに外出していただけるかを考えていくときに有用なデータとなるのではないか。
- 調査対象日が出張日と重なった場合や2地域居住の場合にどう記入したらよいか等、特例的なものは省くことにも留意したうえで、回答者が困らないように記入の仕方に説明を載せるべきものがないか検討してほしい。
- 交通手段が多様化している昨今、デマンドバスなど様々な交通手段について、どのように回答したらよいか回答者に悩ませないような表現をして、我々と回答者の認識が合っている状態で結果を得ることが重要。

## WEB調査

- WEB調査に関しては、途中で興味関心が無くなって回答をやめてしまうことがないよう、直感的に利用しやすい構成を慎重に工夫していくことが重要。
- 調査が間近に迫ってきて、これだけの情報量をどのようにわかりやすくWEBシステムとして表現できるか、QRコードの関連付け方法などを検討する段階にきている。
- 紙面だと面的に捉えられるが、WEBは上から下に目線が行くため、意識調査の回答は1や2に集中しやすい懸念がある。

その他、調査票に関する微細な修正指示があった。

以上